

国内外規格・認証制度研究会(第30回)議事録

【日時】 2014年3月19日(水) 15:00～16:30

【場所】 富士通総研会議室(竹芝)

【出席者(敬称略)】 加藤、田代、折笠(記録)[出席者合計3名]

【資料】

- (1) 第30回研究会: 本日の議題(折笠)
- (2) ISO 22301 と ISO 22313 の比較(加藤さん)
- (3) 研究会発表会資料[イメージ案](折笠)

【議事要約】

1. 最新情報共有(BCAO 情報、ISO 状況等)(折笠)

(1) B C A O 運営会議より

スケジュール関係(最近の実績と予定)

- ・ 准主任・主任管理者試験: 2/18-23(東京)実施
- ・ 事業継続指揮者技能講座: 3/4-5(東京)予定
- ・ 事業継続と両輪の企業防災(個別リスク対策)の講習及び意見交換: 7/3(水)～3/19(水)合計20回開催予定
- ・ 経営者向けセミナー(講演予定者: 経産省、トヨタ自動車): 2/27(木)東京
- ・ 2月度月例会(訓練手法と模擬体験): 2/14(金)細坪氏
- ・ 3月度月例会(訓練): 3/18(火)高橋氏、指田氏
- ・ 研究会・勉強会発表会およびアワード表彰式: 4/21(月)10:55-17:50 オリピック記念青少年総合センター

(2) ISO/TC223 状況(ISO, JSA より) 2014.03.17 時点

- ・ ISO/FDIS 22397[連携構築の指針](FDIS 登録)
- ・ ISO/CD 22325 [組織の緊急事態対応能力評価の指針](CD 投票終了)
- ・ ISO/NP 22316 [組織のレジリエンス - 原則及び指針](プロジェクト承認)

(3) JIS 化状況(JSA より)2014.03.17 時点: 今回変化なし

(4) ISO 22301 国内認証取得状況(JIPDEC より)

- ・ 2014年3月17日時点で55組織認証取得(JIS 認証27件含む)。BS25999-2 認証からの移行が29社で新規取得は26社。(前回研究会(1月)以降、新規取得が8社増加。)これにBS 認証3社と非公表3社を含めると全体で61組織が認証を取得。(折笠)

2. 情報提供: 『サプライチェーン・レジリエンス2013』報告書について(田代さん)

BCI から『サプライチェーン・レジリエンス2013』報告書(英文)が昨年秋に公開されている。昨年夏の調査である。調査結果を見ると、「サプライヤの状況を把握する方法」として、サプライヤに求めるものとして、ISO22301 認証取得 33%、IS22301 参考活用 39%、ガイドライン準拠 40%という結果であり、規格認証取得を求めるというよりは、規格との整合やグッドプラクティスへの準拠を見るという傾向が強そうである。

3. 2013年度研究テーマの検討

【研究テーマ一覧】

- (a1) 海外規格や認証制度等に関する調査・研究
- (a2) 内閣府事業継続ガイドライン(平成25年8月改定)の変更点などの調査
- (a3) 地方自治体の事業継続支援対策・制度の調査
- (b1) ISO22301 各条項の関連規格の関係性の整理
- (b2) ANSI/ASIS SPC.4「組織レジリエンスマネジメントシステムの段階的実践のための成熟度モデル」の調査
- (b3) BCPに関する重要要素の規定内容の研究
- (c) ISO22301 規格に関する国内主要企業の意識調査(アンケート調査)

3.1 ISO 22301 と ISO 22313 の比較(補足)(加藤さん)【テーマ b1】

- ・ ISO 22313 は、ISO 22301 要求事項に対する手引きを示し、関連する推奨事項や許容事項を提示している規格である。両規格の対応する要求事項の記述量を比較し、ISO 22313 で補われている推奨事項や許容事項の記述量の多いところが BCM としての説明記述の強化部分と考えられる。
- ・ 記述量が大幅に増えているのは、「8. 運用」であり、これをさらに詳細に見ていくと、特に記述量が多いのが「8.2 事業影響度分析及びリスクアセスメント」、「8.3 事業継続戦略」、「8.4 事業継続手順の確立及び実施」、「8.5 演習及び試験の実施」など BCM に直接関係する記述の部分である。

3.2 BCAA 研究会発表資料(国内外規格・認証制度研究会)【20140319 イメージ案】(折笠)

- ・ 4/21(月)の研究会発表会の発表資料のイメージ案を作成した。現状は、皆さんの成果資料を切り貼りしたレベルであるが、報告内容のイメージをお伝えするために作成した。
- ・ 国内外BC関連制度の調査、内閣府ガイドラインと ISO 22301 の対応、ISO 22301 を支える規格群の調査などのまとめ報告を想定している。ISO 22301 意識調査アンケートは未実施となる。
例えば、ISO 22301 を支える規格群を紹介するのであれば、紹介の目的を明確にすることが必要である。「ISO 22301 の活用方法」として関連規格の規定内容を紹介するというような考え方が必要である。
(田代さん)
- ・ 4/21 の研究会発表会に向けて、発表資料内容案をまとめていきたいので、メンバー各位のご協力をお願いする。次回4月の会合では、資料のレビューをお願いしたい。

4. 次回開催予定

- ・ 【日時】2014年4月7日(月)15:00～17:30 富士通総研・会議室にて開催
- ・ 【議題】
 - (1)メンバー各位分担の研究テーマの検討結果
 - (2)BCAA研究会・勉強会発表会報告資料の確認
 - (3)その他

以上